

**水産物の産地水揚量・卸売価格、輸出入  
及び家計消費の月別動向について(月報)**  
**(平成21年6月)**

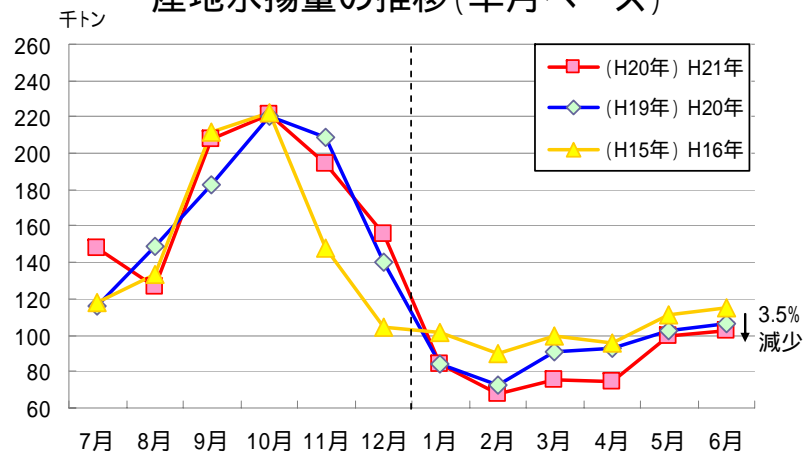
**平成21年8月**  
**水産庁漁政部企画課**

# 1 産地水揚量の動向

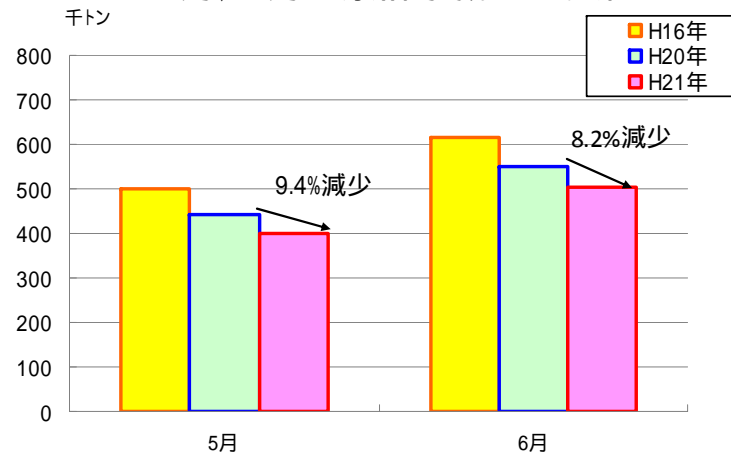
平成21年6月の水産物産地水揚量は103千トで、前年同月と比べ3.5%減少した。かつおの漁獲量が少ないことから、かつお竿釣船等ではまとまりをみせているびんながを主体に漁を行ったため、冷凍びんながでは水揚量が279.1%増加した。また、まいわし(352.9%増)、生鮮するめいか(602.1%増)等で水揚量が増加している。生鮮かつお(55.7%減)、冷凍かつお(25.8%減)、さば類(21.2%減)等では水揚量が減少している。

平成21年の水産物の累計産地水揚量は6月までで505千トで、前年同月と比べ8.2%減少した。これは、累月ベースで、生鮮びんなが(26.0%増)、まいわし(60.0%増)、冷凍びんなが(199.0%増)で水揚量が増加した以上に、かたくちいわし(27.0%減)、ほっけ(29.0%減)、生鮮かつお(32.0%減)等で水揚量が減少したためである。

産地水揚量の推移(単月ベース)



5月、6月の累計水揚量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21累計
水揚量	数量(千トン)	1,603	84	67	75	75	99	103	505
	前年同月比	-1.1%	0.0%	-7.2%	-17.8%	-18.9%	-3.5%	-3.5%	-8.2%
	H16年同月比	-1.7%	-17.1%	-25.5%	-24.9%	-21.6%	-11.1%	-10.7%	-17.8%

出典: 農林水産省「産地水産物流通統計」

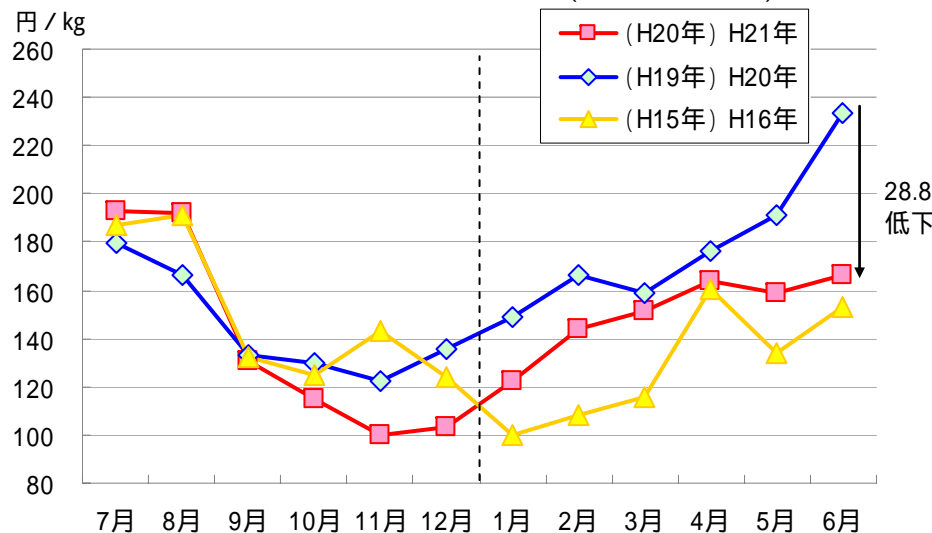
- 注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
- 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。
- 3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
- 4) 表中の については、平成15年合計値との比較である。

## 2 産地平均卸売価格の動向

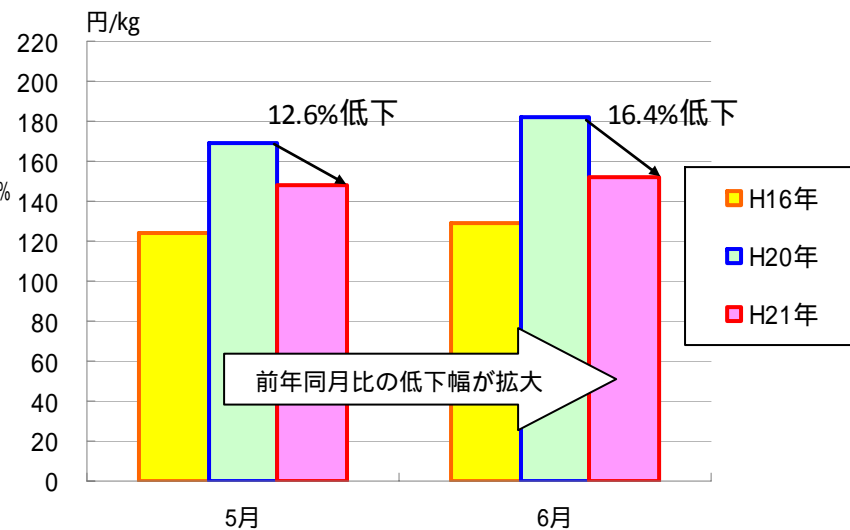
平成21年6月の平均産地卸売価格は166円/kgで、前年同月と比べ28.8%低下した。これは、冷凍びんなが、まいわし、するめいか等で水揚金額が増加した以上に、冷凍かつお、生鮮かつお、生鮮まぐろ等の水揚金額が減少したためである。

平成21年の平均(累計平均)の産地卸売価格は6月までで152円/kgで、前年同月と比べ16.4%低下し、前年同月比12.6%低下であった先月から低下幅は拡大した。累月ベースでは、冷凍びんなが、生鮮びんなが、生鮮するめいか等で水揚金額が増加した。国際相場の影響から、価格が低迷している冷凍かつおの他、まあじ、さば類等での水揚金額が減少した。

産地平均卸売価格の推移(単月ベース)



5月、6月の産地平均卸売価格(累計平均)の変化



		H20平均	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21平均
平均産地 卸売価格	価格(円/kg)	150	123	144	151	164	159	166	152
	前年同月比	4.9%	-17.5%	-13.5%	-4.9%	-7.0%	-17.0%	-28.8%	-16.4%
	H16年同月比	0.0%	22.7%	33.4%	30.5%	2.2%	18.7%	8.5%	17.6%

出典: 農林水産省「産地水産物流通統計」

- 注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。  
 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。  
 3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。  
 4) 表中の「」については、平成15年合計値との比較である。

# (参考)魚種別の累計水揚量・卸売価格

品目	累積の上場水揚量 (t)			累積の平均卸売価格 (1kg当たり円)			
	平成21年 1月～6月	20年 1月～6月	対前年 同期比	平成21年 1月～6月	20年 1月～6月	対前年 同期比	
			%			%	
まぐろ (生鮮)	1	620	1 922	32	2 071	1 787	116
" (冷凍)	2	95	262	36	1 841	3 474	53
びんなが (生鮮)	3	29 575	23 552	126	258	301	86
" (冷凍)	4	6 501	2 174	299	252	375	67
めばち (生鮮)	5	2 994	3 277	91	977	1 127	87
" (冷凍)	6	9 066	10 954	83	758	792	96
きはだ (生鮮)	7	4 730	4 814	98	630	662	95
" (冷凍)	8	3 213	4 689	69	518	551	94
かつお (生鮮)	9	20 668	30 519	68	358	312	115
" (冷凍)	10	105 841	114 777	92	152	199	76
まいわし	11	12 329	7 703	160	92	109	84
うるめいわし	12	7 283	6 157	118	74	82	90
かたくちいわし	13	54 717	74 879	73	33	58	57
まあじ	14	52 920	53 812	98	177	229	77
むろあじ	15	9 754	13 510	72	121	101	120
さば類	16	125 197	122 182	102	76	100	76
さんま	17	322	248	130	37	71	52
ほっけ	18	45 092	63 236	71	46	56	82
するめいか (生鮮)	19	10 516	7 537	140	157	168	93
" (冷凍、遠洋)	20	701	1 267	55	177	183	97
" (冷凍、近海)	21	2 497	2 382	105	237	210	113

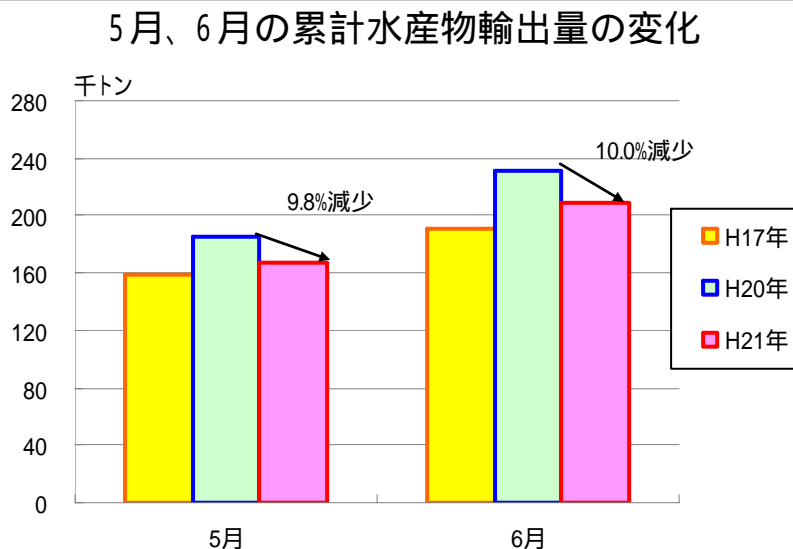
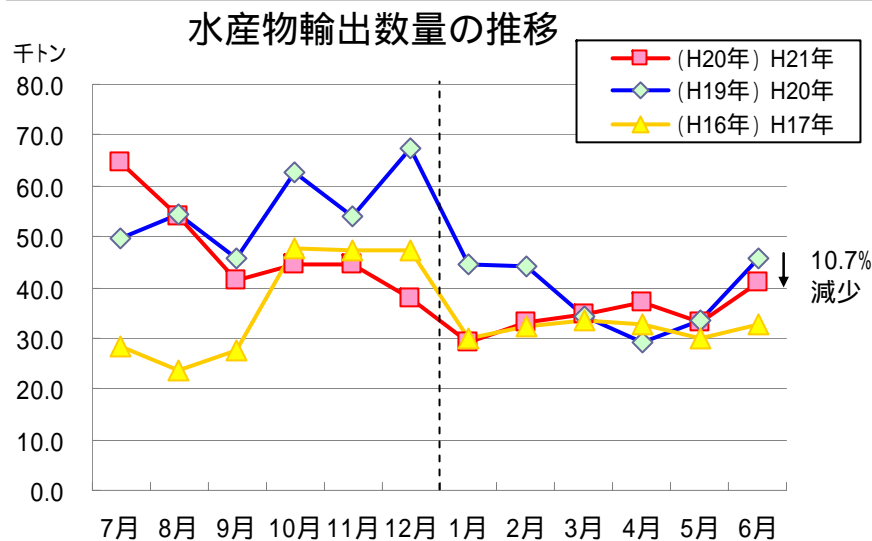
資料：農林水産省「産地水産物流通統計」

注：1)「まぐろ」とは、くろまぐろ及びみなみまぐろの合計である。

### 3 - 水産物輸出数量の動向

平成21年6月の水産物輸出量は41.0千トンを、前年同月と比べ10.7%減少した。国内での水揚量が多かったびんながの輸出が進み、まぐろ類では前年同月比466.8%の増加。また、ほや(233.9%増)、すけとうだら(15.8%増)等で輸出量が増加した。さば(55.4%減)、さけ・ます(72.7%減)、かつお類(26.3%減)等では輸出量が大幅に減少している。

平成21年の水産物の累計輸出量は6月までで208.3千トンを、前年同月と比べ10.0%減少した。品目別にみると、まぐろ類(93.3%増)や日本産の需要が高まった冷凍さんま(26.0%増)等で輸出量が増加。円高や世界的な経済不況の影響により、かつお類(72.3%減)、さば(25.6%減)、いか(45.0%減)等の品目で輸出量が減少した。



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21累計
輸出	数量(千トン)	518.4	29.2	33.0	34.8	37.2	33.1	41.0	208.3
	前年同月比	-15.3%	-34.3%	-25.5%	1.5%	27.7%	-0.7%	-10.7%	-10.0%
	H17年同月比	22.2%	-2.3%	1.9%	4.1%	13.3%	10.5%	25.4%	9.0%

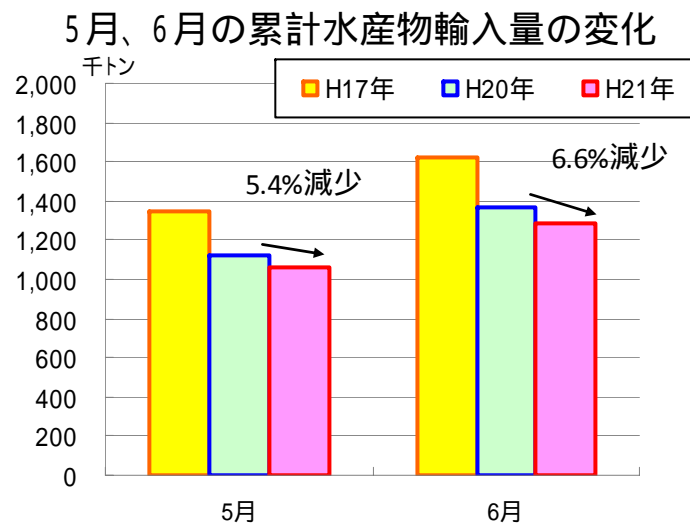
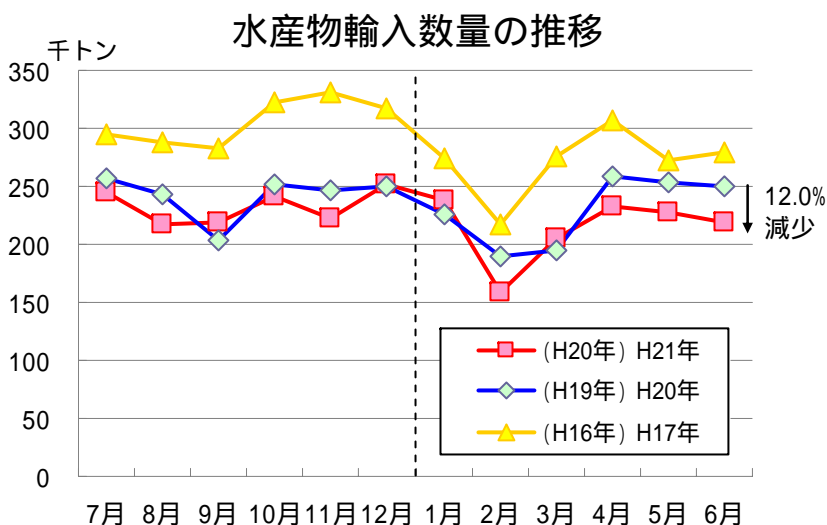
資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

- 注: 1) 表中の については、平成16年合計値との比較である。  
 2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

### 3 - 水産物輸入数量の動向

平成21年6月の水産物輸入量は219千ト、前年同月と比べ12.0%減少した。成約が遅れていた米国産の買い付けが進んだことから、たら(196.8%増)で輸入量が増加。また、国内需要が高まった、かつお類(60.8%増)、うなぎ調製品(117.3%増)等で輸入量が増加した。チリ産の減少によりさけ・ます類では輸入量が18.1%減少。また、魚油(84.0%減)、かに(44.0%減)等で輸入量が減少した。

平成21年の水産物の累計輸入量は6月までで1,282千ト、前年同月と比べ6.6%減少した。品目別にみると、円高や国際価格の低下により需要が増加したかつお類(89.5%増)、魚粉(10.0%増)、あじ(26.8%増)等の品目で輸入量が増加。米国産の減産によりたら(25.6%減)の輸入量が減少。また、さけ・ます(8.4%減)、まぐろ類(7.5%減)等の品目で輸入量が減少した。



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21計
輸入	数量(千トン)	2768	238	159	206	233	227	219	1282
	前年同月比	-4.0%	5.2%	-16.4%	5.9%	-10.3%	-10.1%	-12.0%	-6.6%
	H17年同月比	-20.6%	-13.3%	-27.1%	-25.5%	-24.3%	-16.5%	-21.4%	-21.2%

資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

- 注: 1) 表中の については、平成16年合計値との比較である。  
 2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

# (参考) 品目別の累計輸出入数量

輸出量(千トン)				輸入量(千トン)			
品目	平成21年 1～6月	平成20年 1～6月	前年 同月比	品目	平成21年 1～6月	平成20年 1～6月	前年 同月比
さば(冷蔵・冷凍)	39.8	53.4	-25.6%	魚粉	137.8	125.3	10.0%
さんま(冷凍)	31.4	25.6	22.5%	さけ・ます(生・蔵・凍)	129.9	141.9	-8.4%
すけとうだら(生・蔵・凍)	26.5	22.8	16.2%	まぐろ類(生・蔵・凍)	108.0	116.8	-7.5%
まぐろ類(生・蔵・凍)	19.0	9.8	93.3%	えび(活・生・蔵・凍)	87.6	87.0	0.7%
さけ・ます(生・蔵・凍)	16.4	17.1	-4.2%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	39.9	39.4	1.3%
いか(生・蔵・凍)	10.0	18.3	-45.0%	かつお類(生・蔵・凍)	32.0	16.9	89.5%
かつお類(生・蔵・凍)	5.3	19.1	-72.3%	あじ(冷凍)	30.6	24.1	26.8%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	3.4	4.7	-28.3%	えび(調製)	29.8	29.9	-0.2%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	3.2	4.0	-21.7%	たら卵(生・蔵・凍)	29.5	35.6	-17.2%
かつお類(生・蔵・凍)	2.8	2.5	15.9%	たら(生・蔵・凍・すり身)	28.2	37.9	-25.6%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

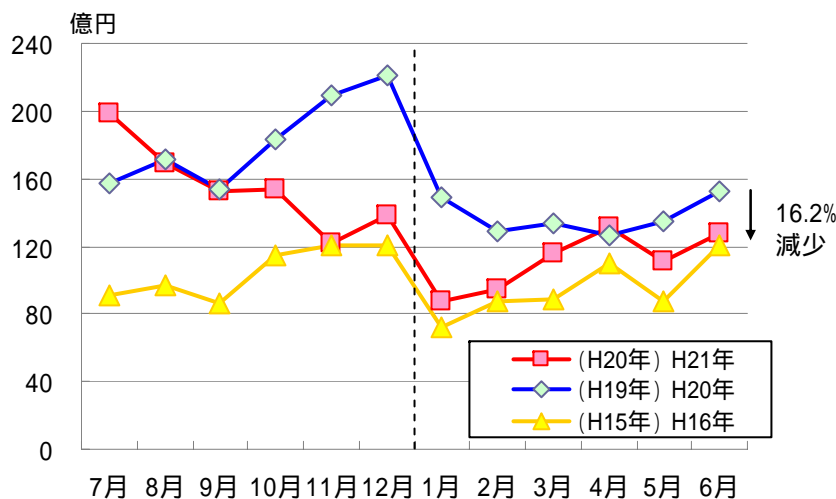
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

## 4 - 水産物輸出金額(真珠を除く)の動向

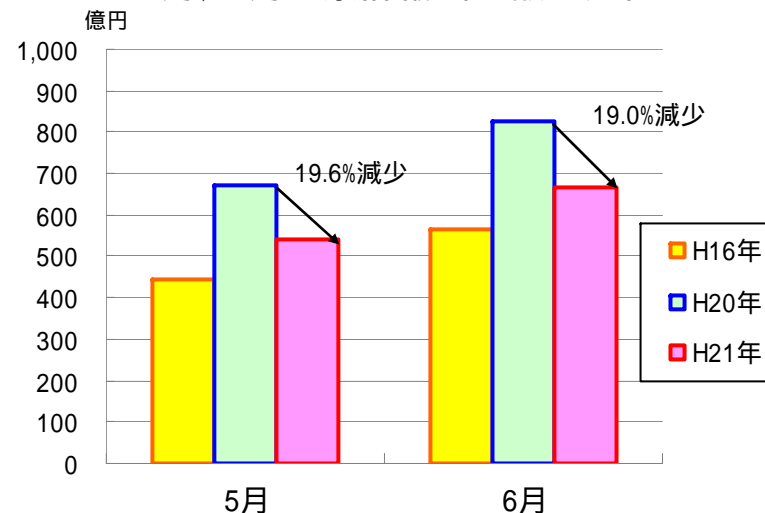
平成21年6月の水産物輸出金額は128億円で、前年同月と比べ16.2%減少した。これは、まぐろ類(184.3%増)、ほや(216.1%増)、ぶり(32.9%増)等で輸出金額が増加した以上に、さば(63.4%減)、さけ・ます(77.2%減)、かつお類(55.9%減)等で輸出金額が減少したためである。

平成21年の水産物の累計輸出金額(真珠除く)は6月までで667億円で、前年同月と比べ19.0%減少した。品目別にみると、まぐろ類(36.1%増)、ぶり(50.5%増)、貝柱調製品(21.9%増)等で輸出金額が増加。円高や世界的な経済不況によりかつお類(81.1%減)が大幅に減少。また、さば(36.7%減)、ほたて貝(30.1%減)等の品目で輸出金額が減少した。

水産物輸出金額の推移(単月ベース)



5月、6月の累計輸出金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21累計
輸出	金額(億円)	1,772	87	94	116	131	111	128	667
	前年同月比	-13.1%	-41.5%	-26.7%	-12.7%	3.7%	-17.4%	-16.2%	-19.0%
	H16年同月比	59.5%	20.2%	7.0%	31.2%	19.8%	27.0%	5.7%	17.8%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の については、平成15年合計値との比較である。

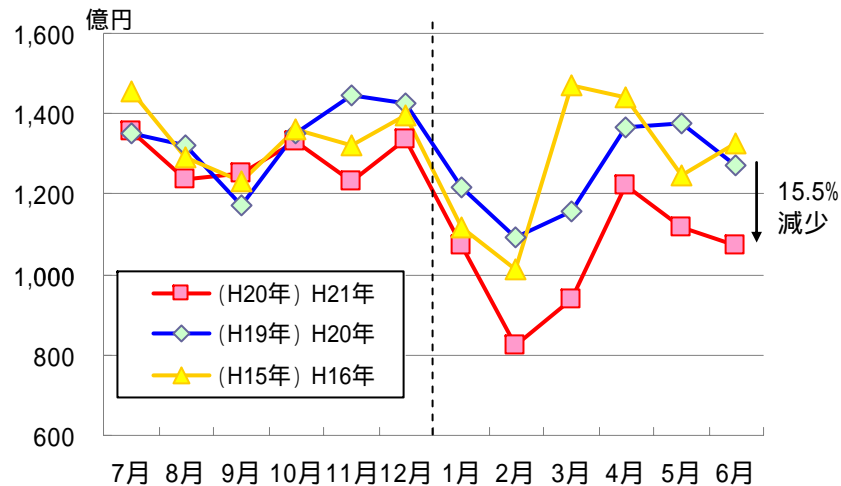
2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

## 4 - 水産物輸入金額(真珠を除く)の動向

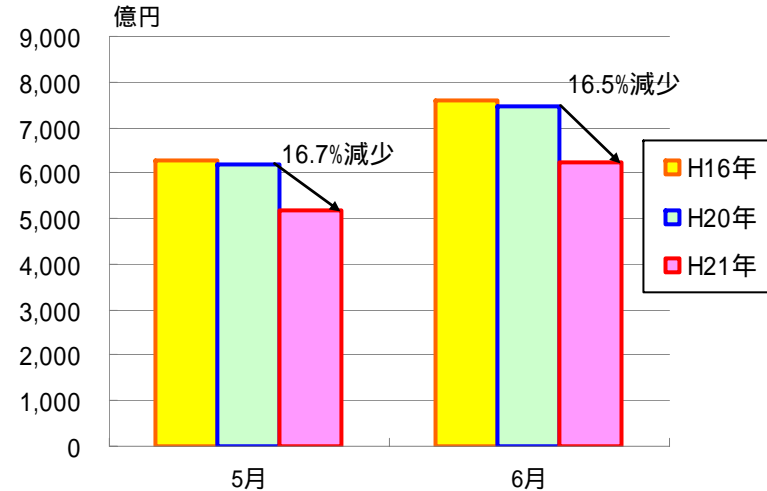
平成21年6月の水産物輸入金額は1,073億円で、前年同月と比べ15.5%減少した。これは、うなぎ調製品(52.2%増)、たら(126.0%増)等で輸入金額が増加した以上に、かに(56.2%減)、たらの卵(26.7%減)、たこ(38.8%減)等の輸入金額が減少したためである。

平成21年の水産物の累計輸入金額(真珠除く)は6月までで6,242億円で、前年同月と比べ16.5%減少した。品目別にみると、さけ・ます(2.0%増)、あさり(47.5%増)、冷凍あじ(27.8%増)で輸入金額が増加。国内需要の低迷や円高により、まぐろ類(17.6%減)で輸入金額が減少。また、たらの卵(40.5%減)、たこ(45.3%減)で輸入金額が減少した。

水産物輸入金額の推移(単月ベース)



5月、6月の累計輸入金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21累計
輸入	金額(億円)	15,249	1,074	823	937	1,220	1,115	1,073	6,242
	前年同月比	-3.9%	-11.8%	-24.7%	-19.0%	-10.6%	-18.9%	-15.5%	-16.5%
	H16年同月比	-0.8%	-3.7%	-18.6%	-36.3%	-15.2%	-10.5%	-19.0%	-18.0%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の については、平成15年合計値との比較である。

2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

# (参考) 品目別の累計輸出入金額

輸出金額(億円)				輸入金額(億円)			
品目	平成21年 1～6月	平成20年 1～6月	前年 同月比	品目	平成21年 1～6月	平成20年 1～6月	前年 同月比
真珠	104.1	185.2	-43.8%	まぐろ類(生・蔵・凍)	1013.1	1230.1	-17.6%
まぐろ類(生・蔵・凍)	57.0	41.9	36.1%	えび(活・生・蔵・凍)	749.1	838.1	-10.6%
乾燥なまこ(調製)	49.4	65.8	-25.0%	さけ・ます(生・蔵・凍)	691.2	677.6	2.0%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	38.3	54.8	-30.1%	たら卵(生・蔵・凍)	274.7	461.8	-40.5%
さば(冷蔵・冷凍)	38.2	60.3	-36.7%	えび(調製)	239.1	251.6	-5.0%
さけ・ます(生・蔵・凍)	36.0	34.8	3.4%	かに(活・生・蔵・凍)	167.8	236.8	-29.1%
すけとうだら(生・蔵・凍)	36.0	39.3	-8.4%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	167.0	182.5	-8.5%
貝柱(調製)	32.7	26.8	21.9%	真珠	131.2	235.0	-44.2%
ぶり(生・蔵・凍)	28.1	18.7	50.5%	たこ(活・生・蔵・凍)	124.6	227.7	-45.3%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	25.8	30.7	-15.9%	魚粉	124.1	123.1	0.8%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

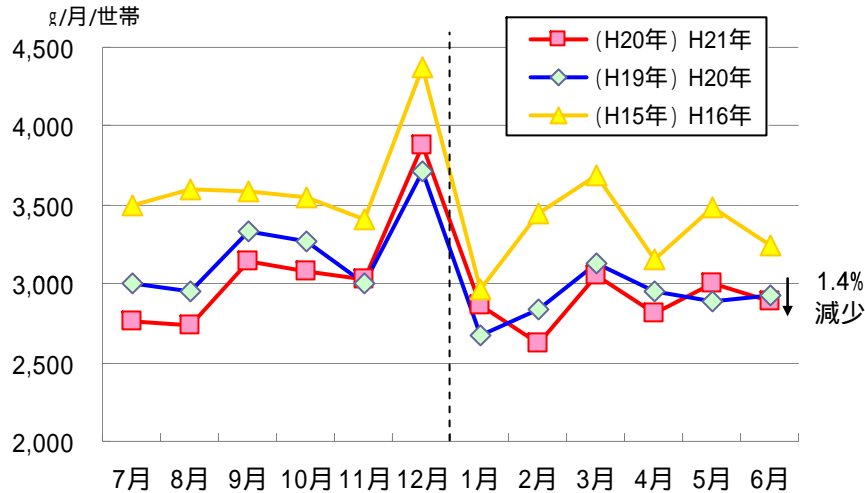
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

## 5 - 生鮮魚介の家計購入数量の動向

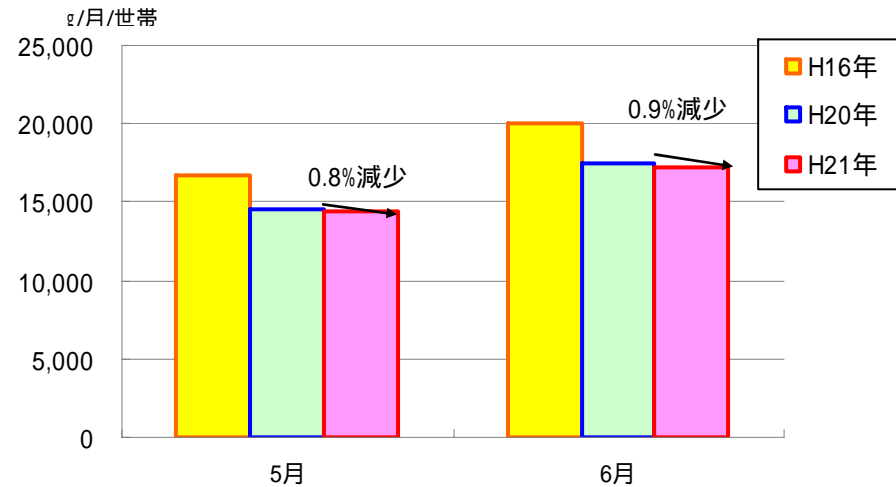
平成21年6月の生鮮魚介1世帯1月当たりの購入数量は2,887g/月/世帯で、前年同月と比べ1.4%減少した。これは、単月ベースでいわし(52.5%増)、さけ(7.7%増)、たこ(26.6%増)等で購入数量が増加した以上に、かつお(22.7%減)、あじ(14.6%減)、いか(10.1%減)等の購入数量が減少したことによる。

平成21年の生鮮魚介1世帯1月当たりの累計購入数量は6月までで17,252g/月/世帯で、前年同月と比べ0.9%減少した。これは、さんま(16.1%増)、えび(6.6%増)、たこ(18.1%増)等の品目で購入数量が増加した以上に、いか(11.8%減)、まぐろ(5.7%減)、かつお(6.5%減)等の品目で購入数量が減少したことによる。

魚介類1世帯1月当たり購入数量の推移(単月ベース)



5月、6月の魚介類1世帯1月当たり購入数量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21累計
生鮮魚介 購入数量	数量(g/月/世帯)	36,031	2,868	2,626	3,056	2,818	2,997	2,887	17,252
	前年同月比	-5.0%	7.2%	-7.6%	-2.5%	-4.3%	3.8%	-1.4%	-0.9%
	H16同月比	-14.9%	-3.2%	-23.8%	-17.1%	-10.6%	-14.1%	-11.0%	-13.7%

資料:総務省「家計調査報告」

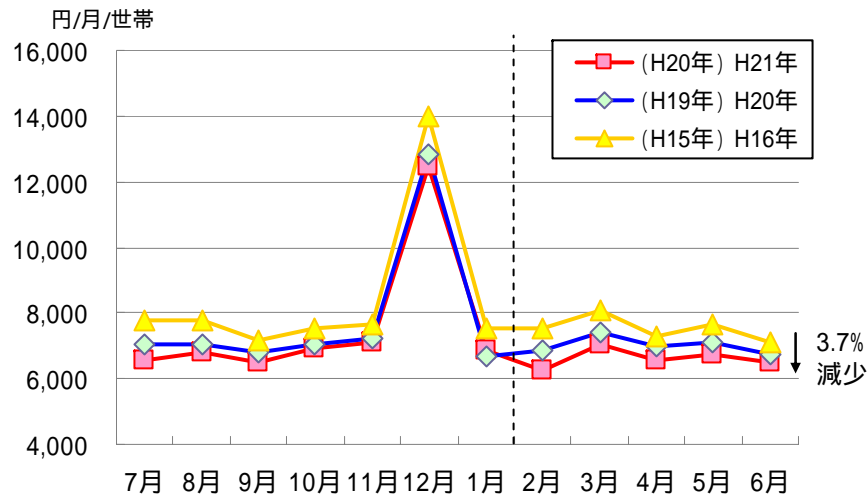
- 注: 1) 表中の については、平成15年合計値との比較である。  
 2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。  
 3) 生鮮魚介は、鮮魚16品目、貝類5品目の合計である。

## 5 - 魚介類の家計消費支出の動向

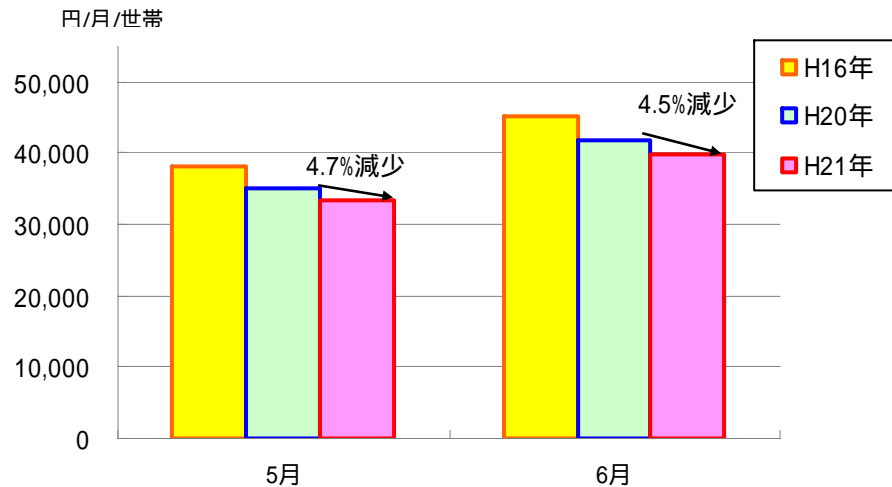
平成21年6月の魚介類1世帯1月当たりの支出金額は6,515円/月/世帯で、前年同月と比べ3.7%減少した。これは、たこ(16.4%増)、いわし(15.8%増)、えび(3.3%増)で支出金額が増加した以上に、かつお(19.6%減)、さしみ盛合わせ(6.3%減)、いか(9.0%減)等の支出金額が減少したことによる。

平成21年の魚介類1世帯1月当たりの累計支出金額は6月までで39,975円/月/世帯で、前年同月と比べ4.5%減少した。これは、たこ(5.8%増)、えび(2.0%増)、さんま(3.2%増)等の品目で支出金額が増加した以上に、まぐろ(6.2%減)、いか(8.8%減)、ぶり(6.1%減)等の品目で支出金額が減少したことによる。

魚介類1世帯1月当たり支出金額の推移(単月ベース)



5月、6月の魚介類1世帯1月当たり支出金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21累計
魚介類 支出金額	金額(円/月/世帯)	88,211	6,851	6,230	7,039	6,573	6,767	6,515	39,975
	前年同月比	-3.5%	2.3%	-9.6%	-5.0%	-6.0%	-4.9%	-3.7%	-4.5%
	H16同月比	-10.4%	9.2%	17.5%	12.7%	9.7%	11.8%	8.1%	-11.6%

資料:総務省「家計調査報告」

注: 1) 表中の については、平成15年合計値との比較である。

2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。

3) 魚介類は、生鮮魚介21品目、塩干魚介7品目、魚肉練製品4品目および他の魚介加工品5品目の合計である。

# (参考) 品目別の1世帯当たり購入数量及び支出金額

品目	購入数量				支出金額				品目	支出金額			
	平成21年 6月	対前年 同月比	平成21年 1～6月	対前年 同月比	平成21年 6月	対前年 同月比	平成21年 1～6月	対前年 同月比		平成21年 6月	対前年 同月比	平成21年 1～6月	対前年 同月比
鮮魚	2,627	-1.6%	15,446	-1.0%	3,520	-4.2%	21,630	-4.7%	塩干魚介	1,234	-3.6%	7,210	-7.9%
まぐろ	208	-2.8%	1,230	-5.7%	467	-1.9%	2,791	-6.2%	塩さけ	163	-6.3%	924	-5.2%
あじ	182	-14.6%	858	-3.5%	170	-10.5%	798	-9.8%	たらこ	215	-2.7%	1,288	-8.2%
いわし	90	52.5%	412	5.9%	66	15.8%	325	-4.1%	しらす干し	138	-2.1%	717	-7.6%
かつお	140	-22.7%	572	-6.5%	217	-19.6%	886	-9.3%	干しあじ	94	-3.1%	580	-6.6%
かれい	105	-7.1%	733	2.1%	118	-12.6%	856	-8.1%	干しいわし	33	-2.9%	216	-13.6%
さけ	281	7.7%	1,487	2.0%	361	0.6%	1,992	-1.8%	煮干し	33	-10.8%	193	-11.9%
さば	112	13.1%	641	-3.6%	87	4.8%	543	-7.2%	他の塩干魚介	558	-3.1%	3,293	-8.1%
さんま	87	-3.3%	598	16.1%	45	-10.0%	292	3.2%	魚肉練製品	643	-9.4%	4,146	-1.3%
たい	69	-5.5%	434	11.9%	103	-13.4%	683	-5.1%	揚げかまぼこ	190	3.8%	1,295	2.8%
ぶり	104	10.6%	939	-2.6%	159	-2.5%	1,545	-6.1%	ちくわ	147	2.1%	919	5.4%
いか	248	-10.1%	1,263	-11.8%	232	-9.0%	1,268	-8.8%	かまぼこ	211	-28.2%	1,240	-10.7%
たこ	81	26.6%	385	18.1%	128	16.4%	638	5.8%	他の魚肉練製品	94	5.6%	690	1.0%
えび	170	6.3%	970	6.6%	281	3.3%	1,643	2.0%	他の魚介加工品	816	4.1%	4,646	-1.9%
かに	19	-17.4%	275	10.4%	49	11.4%	596	-1.2%	かつお節・削り節	77	-9.4%	472	-1.0%
他の鮮魚	496	-2.7%	3,088	-4.8%	648	-4.7%	4,082	-7.4%	魚介の漬物	216	3.3%	1,241	-2.8%
さしみ盛合わせ	148	-7.5%	1,010	0.7%	388	-6.3%	2,686	-0.7%	魚介のつくだ煮	91	12.3%	470	-9.1%
貝類	257	1.6%	1,798	-0.1%	302	-3.8%	2,342	-2.9%	魚介の缶詰	217	8.5%	1,185	2.7%
あさり	107	-13.0%	661	-4.8%	98	-14.8%	634	-5.2%	他の魚介加工品の その他	216	3.3%	1,280	-2.3%
しじみ	34	25.9%	147	1.4%	40	21.2%	205	0.5%					
かき	3	0.0%	297	0.3%	4	-20.0%	477	-1.0%					
ほたて貝	78	11.4%	495	6.5%	123	1.7%	758	-1.4%					
他の貝	25	-7.4%	176	-7.9%	37	-7.5%	268	-7.9%					

資料:総務省「家計調査報告」

本資料は、各々の出典に基づいて水産庁漁政部企画課で作成したものであり、本資料中における平成19年及び平成20年合計値は速報値である。

次回(平成21年7月版)の発行は、平成21年9月中旬の予定であるが、出典の公表時期などにより前後することがある。

お問い合わせ先

水産庁 漁政部 企画課 動向分析班  
担当 長尾

電話:03-3502-8111(内線6578)

直通:03-6744-2344